

# 学びの教室 授業指導案

キンダークラス  
対象年齢：年中～小2

3 月 1 週目  
作成者：宮江 かほり

テーマ ●キンダークラスに慣れる。友達を意識する。

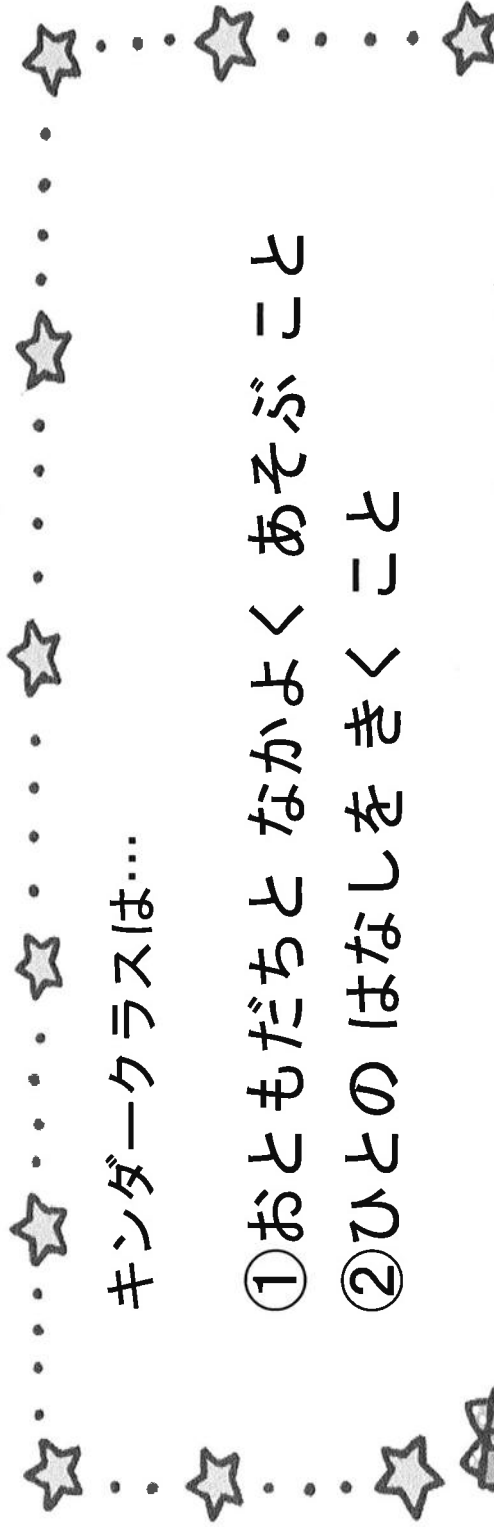
めあて ●担任の名前と顔を覚える。  
●同じクラスの友達を意識する。

時間	めあて	指導教材	授業展開と留意点	生徒の行動
15分	入講式	名前カード(名札)プリント	<p>①「始まりの挨拶」は、これからソーシャルスキルの勉強が始まることを意識させる。</p> <p>②担任が自己紹介をする。</p> <p>③アットスクールの校長からの言葉を聞く。今日から新しい1年が始まることを意識づける。<u>新しい1年＝成長した証と新しい学びが始まることに気付かせる。</u></p> <p>④講師が名前を呼び、生徒は返事をする。講師は1人1人の名前を呼ぶ際は生徒の顔を見て元気かどうか尋ねるなど、生徒の緊張を和らげる。</p> <p>⑤キンダークラスが何をするとところなのかを説明する。 2014年度小学生の中には「こんなん遊びや。勉強やない」という生徒もいたので、『話を聞くこと』『友達と楽しく遊ぶこと』がめあてであることを伝える。</p> <p>⑥クラスでのお約束を伝える。</p> <p>⑦チャレンジシートに名前を記入する。</p>	<p>①始まりの挨拶をする。</p> <p>②担任の名前と顔を覚える。</p> <p>③校長先生の話聞く。</p> <p>④名前に返事をする。</p> <p>⑤先生の話聞く。</p>

30分	たのしく遊んでクラスに慣れる。	じゃんけんカード 新聞紙または折り紙	<p>①講師はこれからじゃんけんゲームをすることを伝える。見本を見せ、ドーンじゃんけんをし、相手の陣地の玉を多くとった方が勝ちであることを伝える。</p> <p>②新聞紙もしくは折り紙で玉作りを行う。(色や大きさによってポイントを変えるなどのルールをくわえてもよい。その場合はどれが何ポイントになるのか玉、もしくはホワイトボードに明記する)</p> <p>③じゃんけんのルールを全員が理解しているか確認する。じゃんけんのルールを理解していない生徒がいる場合はじゃんけんカードを掲示して説明する。</p> <p>その場で先生対生徒で何度かじゃんけんを行い、全員がじゃんけんができていないか、勝ち負けを理解しているか確認する。</p> <p>④机を端に寄せて、空間を広くとる。床にマスキングテープで線を引く。マスキングテープの端に玉を並べる。</p> <p>⑤一方に講師、一方に生徒が並ぶ。 ※並ぶ時も自分たちで順番を守って並べることが望ましいですが、今回は初回で楽しく遊べる方がよいので、あらかじめ並ぶ順番を年齢の小さい順など指定しておく方がトラブルにならずによいかも知れません。また、繰り返し行う際には、「次は誕生日の順!」「背の順!」など並ぶ順番を変えつつ子ども同士がコミュニケーションをとれるように促してください。</p> <p>⑥ルールを実際やってみせながら確認。ゲームを行う。とった玉は、自分の陣地に置き、相手から取り返されることもあるなど、自分達でルールを決めて行ってもよい。</p> <p>⑦最後に協力して机を戻す。</p>	<p>①講師の話を聞く。</p> <p>②新聞紙や折り紙を丸める。(どれが何ポイントにするか点数を決める。)</p> <p>③じゃんけんのルールの確認</p> <p>④机を協力して移動する。年長者は机を、年少者は椅子を主に移動させる。</p> <p>⑤並ぶ。</p> <p>⑥ドーンじゃんけんを行う。</p> <p>⑦机を戻す。</p>
15分	振り返り・宿題確認	宿題プリント・絵本	<p>①宿題で出すことを提示する。</p> <p>②自分で考えて書くところ、家族に手助けをもらって書くところを明確に提示する。</p> <p>③質問をすることで、家で困らないことを伝えて、質問をするように支援していく。</p> <p>④チャレンジシートを見ながら、今日の振り返りを行う。</p> <p>⑤全員が帰りの用意を完全にしてから、絵本に移れることを伝える。</p> <p>⑥絵本を読み聞かせる。</p> <p>⑦終了の挨拶を行う。</p>	<p>①自分がわからないところは挙手して質問する。</p> <p>⑤自分の荷物をまとめる。自分が遅いと他の人に迷惑をかけていることを知る。</p> <p>⑥絵本を聞く。</p>

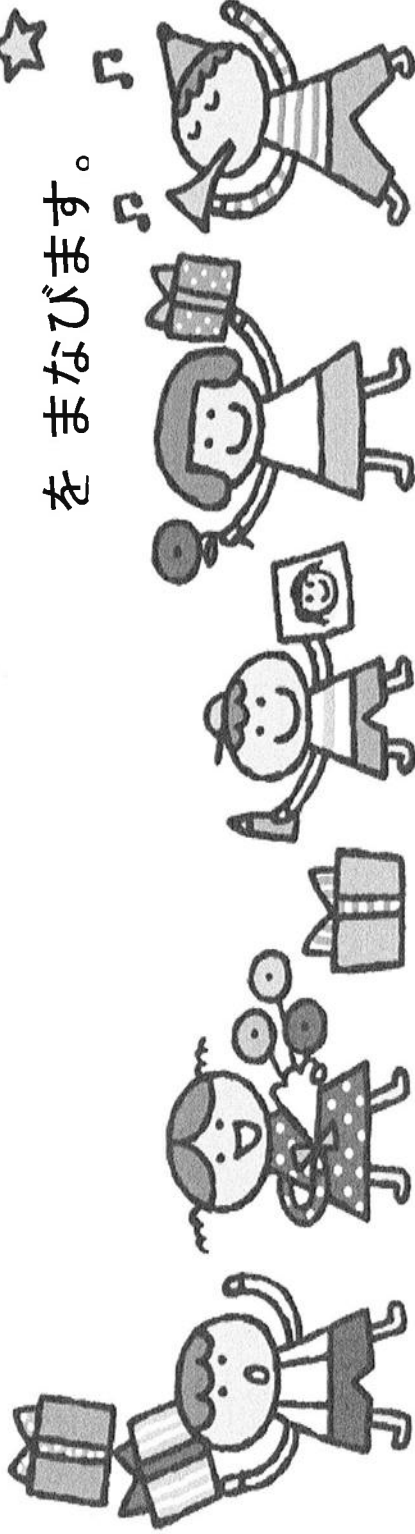
宿題 ●「どっちがすき？」

キンダークラスって なにする ところ？



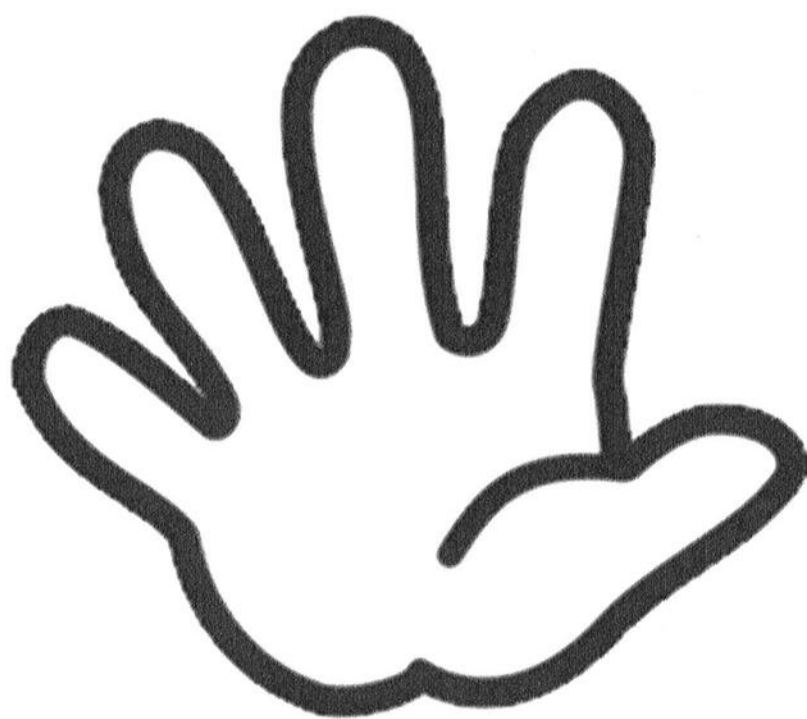
キンダークラスは...

- ①おともだちと なかよく あそぶ こと
- ②ひとの はなしを きく こと



を まなびます。







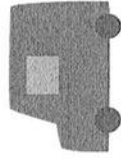
どっちが すき？

なまえ ( )

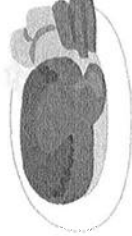
☆すきなほうに ○をつけよう！



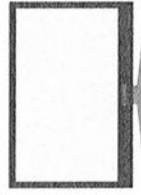
・いぬとねこ どっちが すき？



・くるまとでんしゃ どっちが すき？



・ハンバーグとカレーライス どっちが すき？



・テレビとゲーム どっちが すき？

★しつもんを かんがえて みよう！ もじでも えでも いいよ！

と

どっちが すき？

# 学びの教室 授業指導案

3 月 2 週目

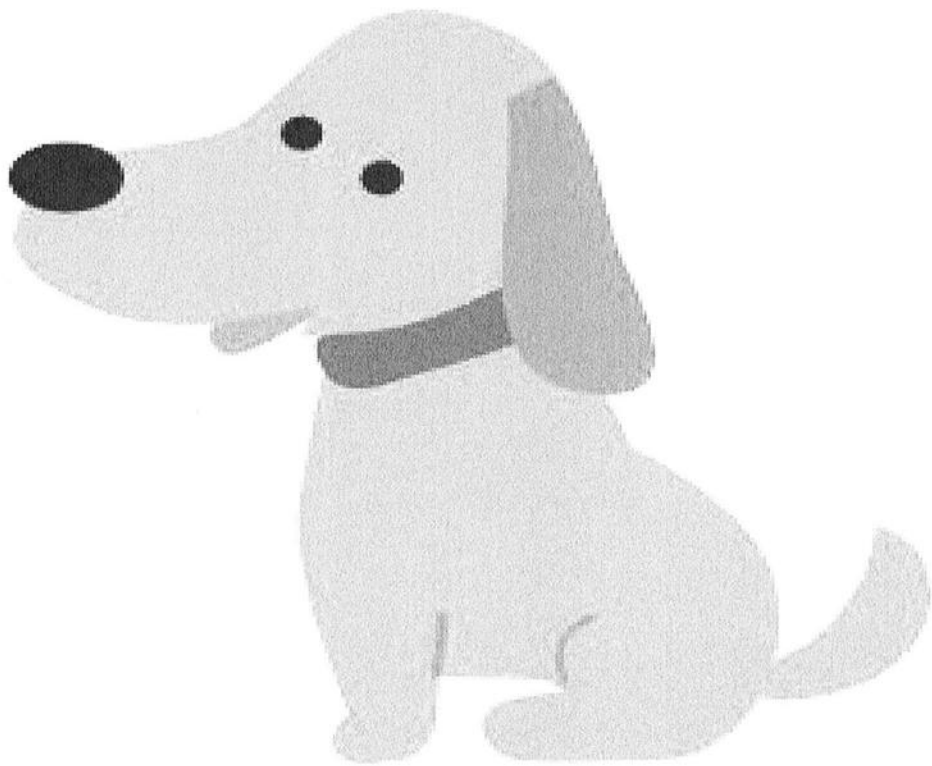
対象年齢： 年中～小2

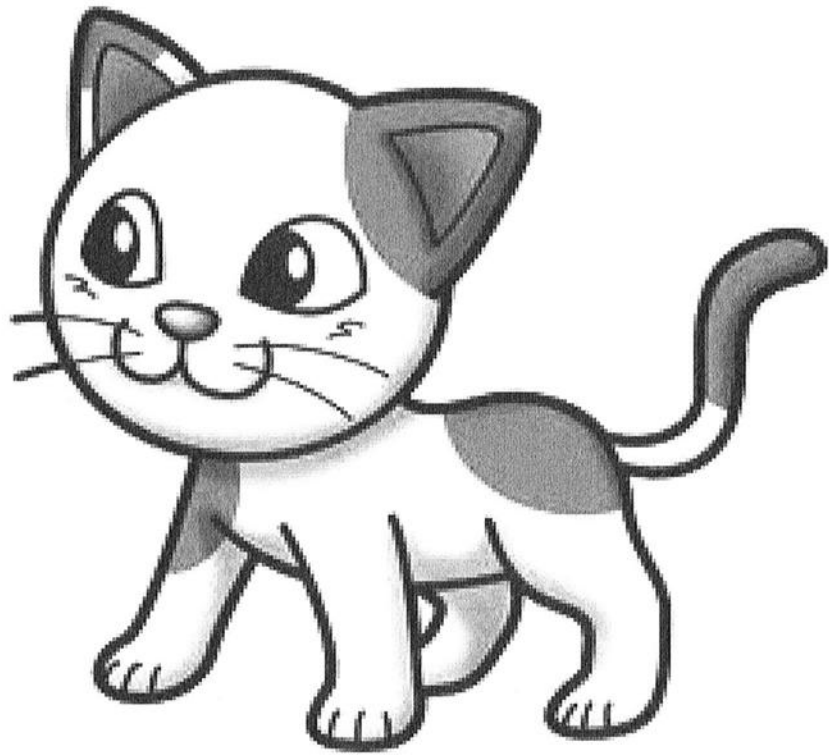
作成者： 宮江 かほり

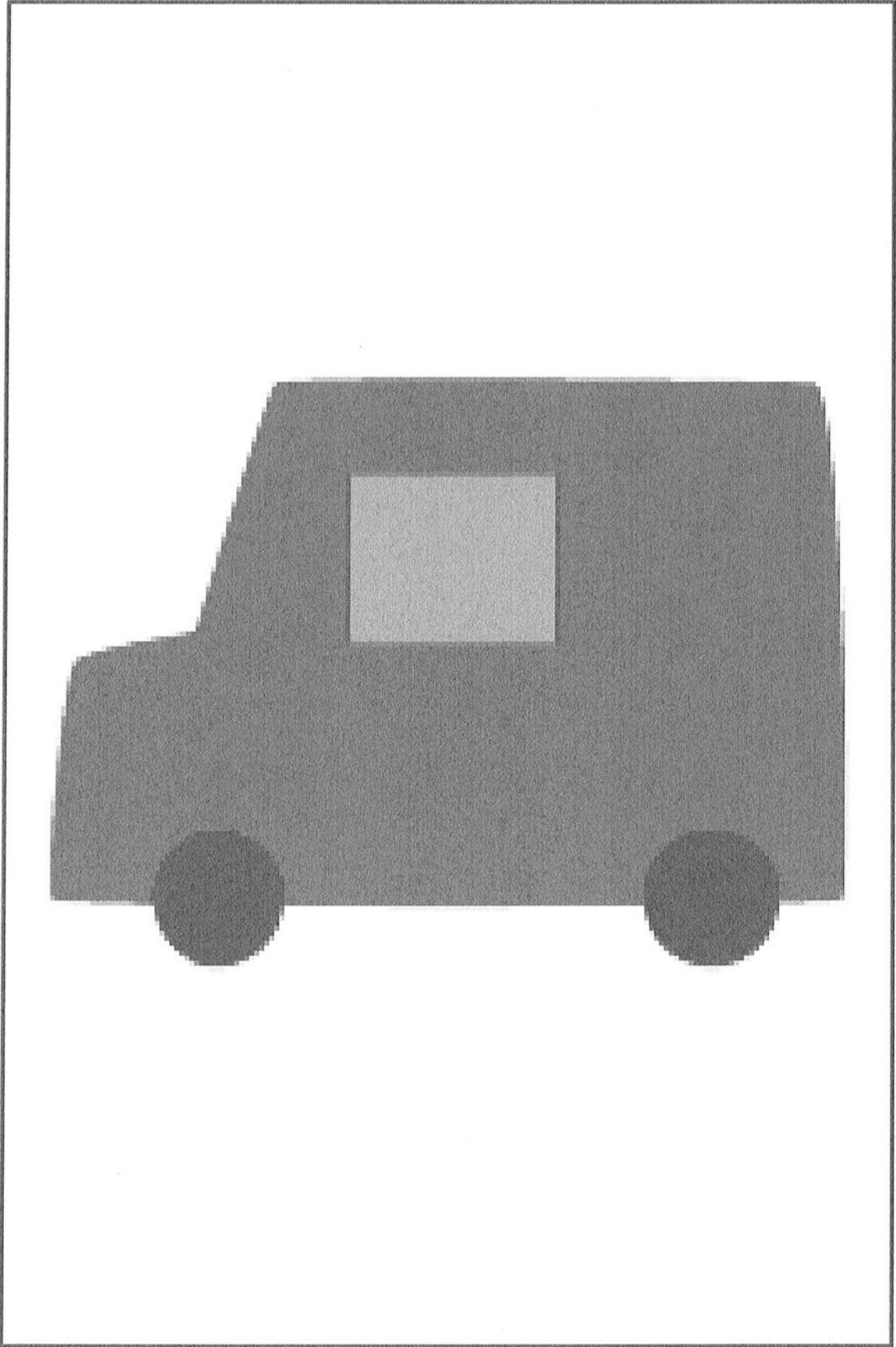
テーマ ●キンダークラスに慣れる。友達に関心をもつ。				
めあて ●友達の名前を覚える。				
時間	めあて	指導教材	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	話を聞く	・おやくそく	①手遊びで生徒が講師に注目し、落ち着いてから挨拶を行う。 「始まりの挨拶」は、これからキンダークラスの勉強が始まることを意識させる。 ②講師は名前を呼び、生徒の調子を尋ねる。 ③今日のめあて、予定を提示する。	①始まりの挨拶をする。  ②名前に返事をする。  ③講師の話を聞く。
5分	聞く姿勢をつくる	・おてだま (人数×2) ・集中タイムシート ・良い姿勢(掲示用)	①「今から10秒間集中タイムを行います」と講師は宣言する。 ②講師は良い姿勢で座り、膝の上の手におてだまを置いて、「おてだまが落ちないように10秒間じっと座る」見本を見せる。 「よい姿勢」を掲示し、良い姿勢で座ることがおてだまが落ちないこつであることを伝える。 ③生徒に行ってもらおうが初めは3秒、5秒から始めてもよい。 途中で落ちてしまってもまた乗せて始めてもいいことを声掛けし、あきらめずにできたことをほめ励ます。 ④自分で数えながら行ってもらい、最長時間を集中タイムシートに記録する。 ⑤講師が手を2回叩いて「聞く姿勢」と言ったら、今の姿勢をとるように伝える。何度か練習する。 授業の中で話を聞く場面の際に取り入れ、良い姿勢で話を聞くことを定着させていく。	①②講師の話を聞き、見本に注目する。  ③良い姿勢をとる。  ④シートに時間を記録する。  ⑤講師の合図を聞き、良い姿勢をとる。

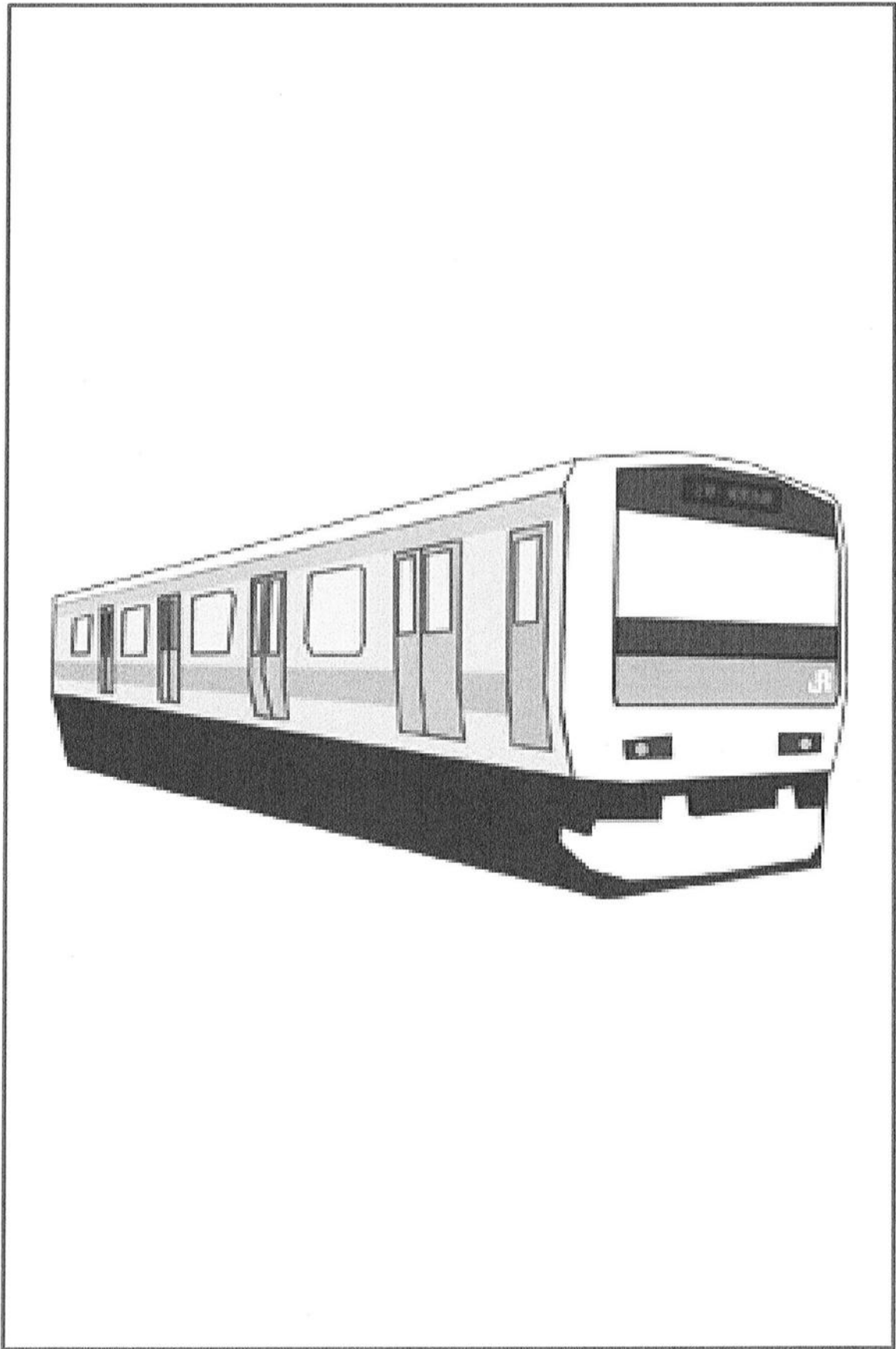


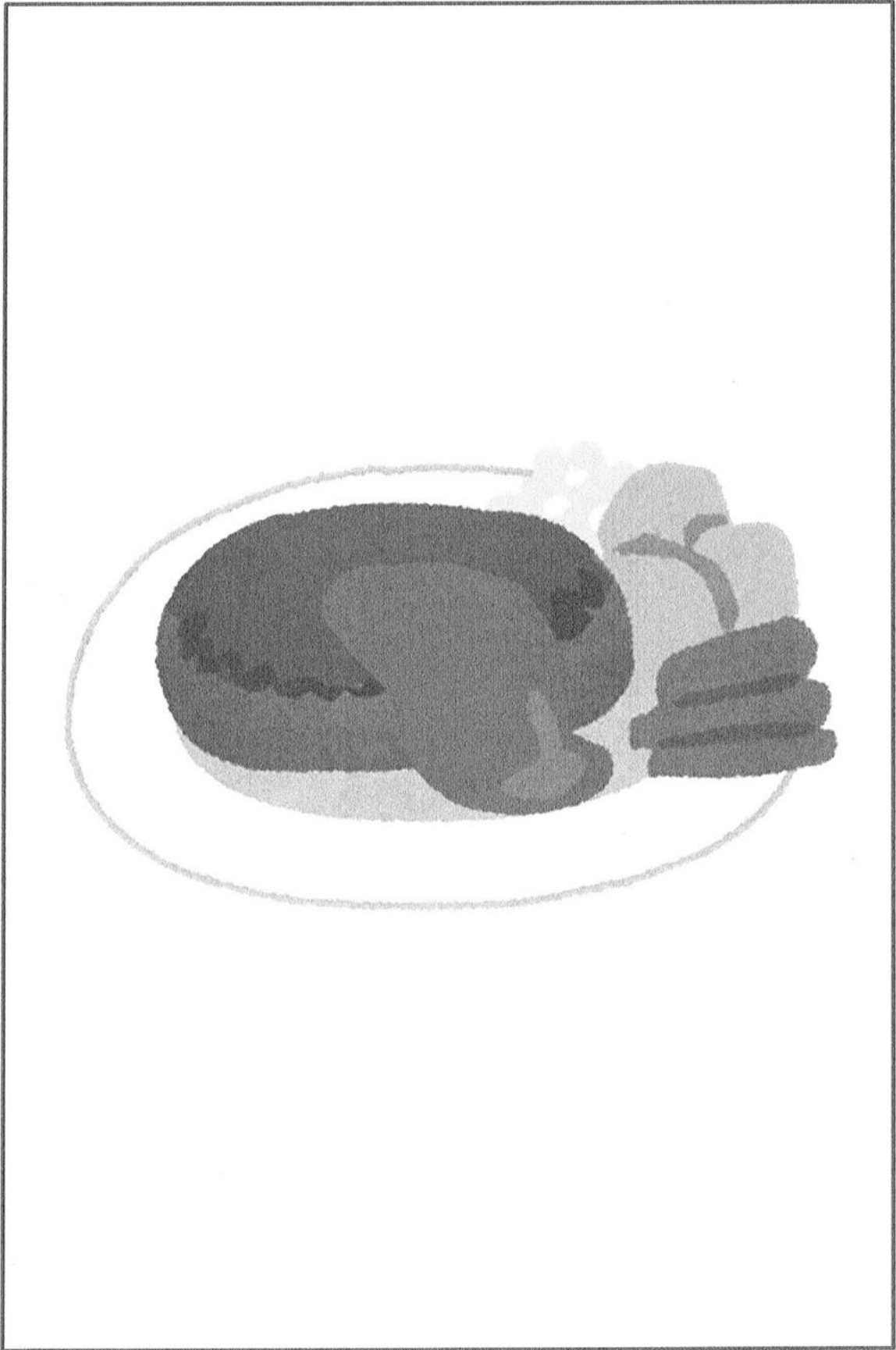
<p>30分</p>	<p>友達を意識する。 自分を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カード (くもんの食べ物カード・など)</li> <li>・絵本「ねえ、どれがいい？」(職員持参)</li> <li>・先週の宿題プリント</li> <li>・マスキングテープ(机をよけて行う場合)</li> </ul>	<p><b>【準備】</b> 机をよけて床にマスキングテープで場所分けをするか、もしくは、机を挟んで左右に場所を分ける。<u>生徒がどちらに行けばよいのかを視覚的に明確にする。</u></p> <p><b>【ゲーム】</b> ①・「どっちが好き？」ゲームの説明を行う。講師が見せた絵カードのうち、自分が好きな方に移動するもしくは、好きの方の席に座る。 ・講師が一度お手本を見せる。 ・全員がルールを理解してから始める。 ・一回移動するごとに、講師はホワイトボードに移動したグループに分けて名前を書いておく。講師は生徒の名前を意識的に呼ぶようにし、「〇〇さんと△くんは同じ～がすきなんだね」と声をかける。答えることができる生徒であれば選んだ理由を尋ねてもよい。 ・他の生徒の動きを気にして選んでいる様子であれば、講師が誰も選んでいない方を選ぶなど自分の意志で選択しやすい雰囲気づくりを心掛ける。 ②ルールに慣れてきたら、宿題で自分が考えた「〇〇より〇〇が好き」を質問にして「〇〇と〇〇はどっちが好きですか？」と生徒に講師の代わりに1人ずつ尋ねてもらう。 <u>できそうであれば、その場で問題を考え、画用紙に書いてもらって出題してもらう。</u> クラスによって、皆の前で発表することに抵抗のある生徒が多ければ、宿題プリントを回収し、講師が代わりに行って構いません(今回は発表することが目的ではないため)。</p> <p><b>【振り返り】</b> ③最後に、ホワイトボードを見ながら、「〇〇さんと△くんは同じ犬が好きだけど、乗り物では違う」</p>	<p>①講師の話聞き、見本に注目する。 講師の提示した質問に沿って、自分の好きな方に移動して座る。</p> <p>②自分が考えた質問を発表する。</p>
------------	----------------------------	---	---	--

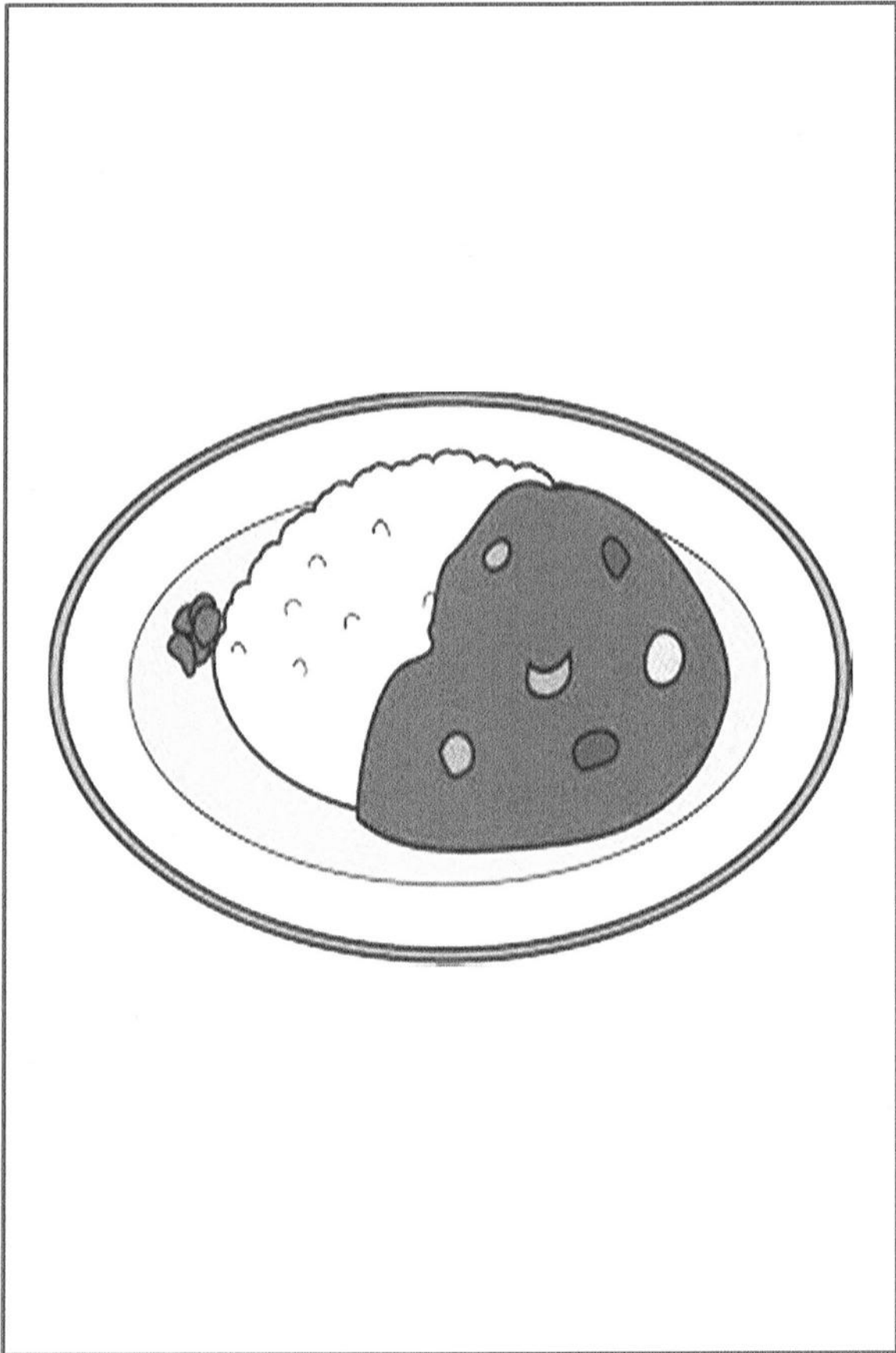


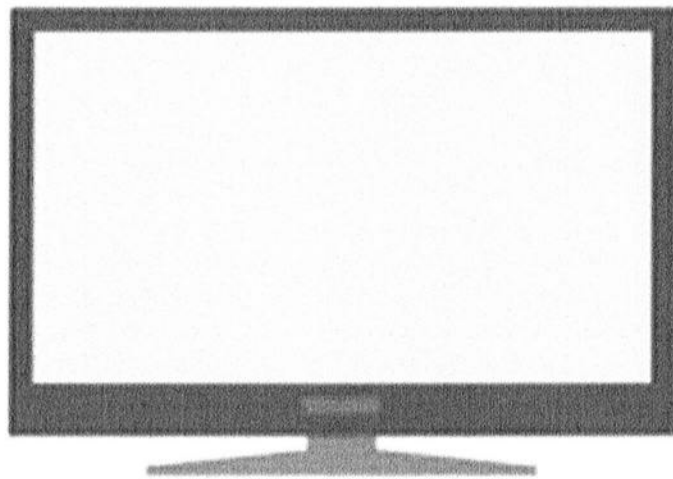




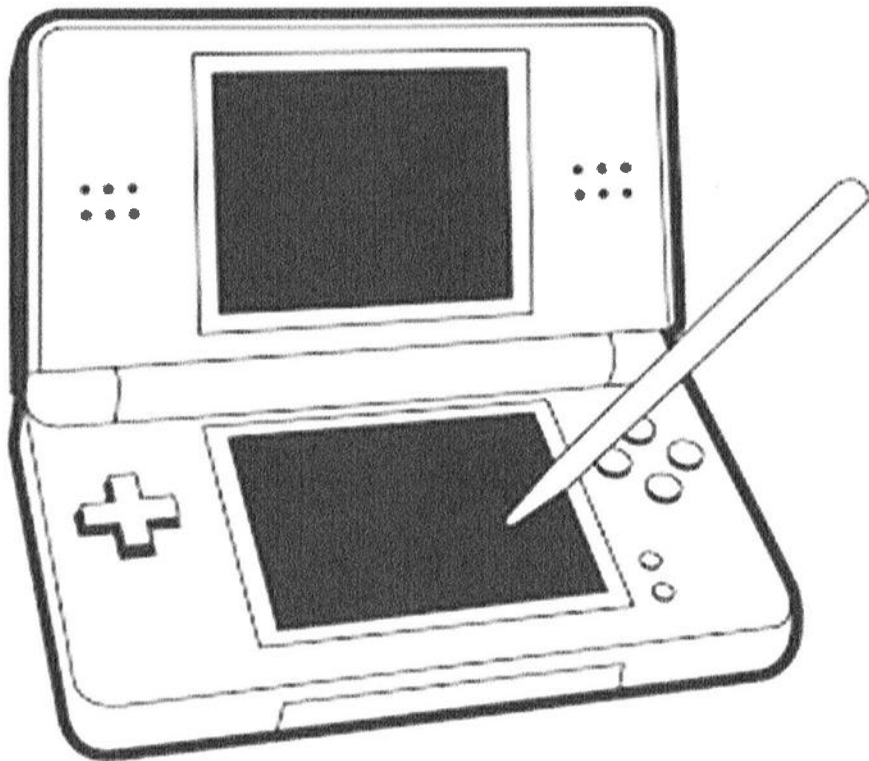












# ぼく・わたしは これがすき!

なまえ( )

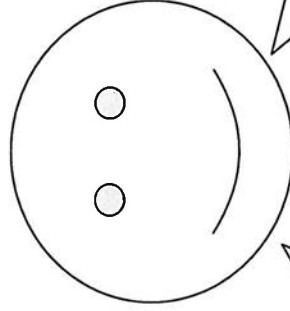
○すきなもの えをかいたり しやしんをはってください。

☆すきな たべもの☆

☆すきな どれび☆

☆すきな あそび☆

☆すきな どうぶつ☆



# 学びの教室 授業指導案

3 月 3 週目  
作成者：宮江 かほり

対象年齢： 年中～小2

テーマ クラスのメンバーに慣れる。

めあて ● 友達の好きなものを知ること、自分の好きなことを知る。

時間	めあて	指導教材	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	話を聞く	おやくそく スケジュールカード	①手遊びで生徒が講師に注目し、落ち着いてから挨拶を行う。 「始まりの挨拶」は、これからキンダークラスの勉強が始まることを意識させる。 ②講師は名前を呼び、生徒の調子を尋ねる。 ③今日のめあて、予定を提示する。 ④おやくそくを斉唱する。	①始まりの挨拶をする。 ②名前に返事をする。 ③講師の話を聞く。
5分	聞く姿勢をつくる	・おてだま (人数×2) ・集中タイムシート	①「今から集中タイムを行います」と講師は宣言する。 ②講師は良い姿勢で座り、膝の上の手におてだまを置いて、「おてだまが落ちないように10秒間じっと座る」見本を見せる。 「よい姿勢」を掲示し、良い姿勢で座ることがおてだまが落ちないことであることを伝える。 ③生徒に行ってもらおうが初めは3秒、5秒から始めてもよい。 途中で落ちてしまってもまた乗せて始めてもいいことを声掛けし、あきらめずにできたことをほめ励ます。 ④自分で教えながら行ってもらい、最長時間を記録する。先週の自分の記録と比較しながら振り返る。 ⑤講師が手を2回叩いて「聞く姿勢」と言ったら、今の姿勢をとるように伝える。何度か練習する。授業の中で話を聞く場面の際に取り入れ、良い姿勢で話を聞くことを定着させていく。	①②講師の話を聞き、見本に注目する。 ③良い姿勢をとる。 ④シートに時間を記録する。 ⑤講師の合図を聞き、良い姿勢をとる

30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達を意識する。</li> <li>・自分を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題プリント</li> <li>・画用紙</li> <li>・折り紙、スパンコール、丸シール、葉っぱなど</li> </ul>	<p>①宝物ブックを作ることを伝える。</p> <p>②自分の好きなものの絵を描いてもいいし、ちらしの写真などを貼ってもいいことを伝え、見本を見せる。</p> <p>③まずは、自分の宿題のプリントや家から持ってきてもらったちらしの中から選び、画用紙に描いたり、貼ったりする。</p> <p>講師は「○○くんは電車が好きなんだね！△さんほどんな乗り物が好き？」などコメントしながら、他の生徒の好きなものを聞いて自分の好きなものも想起しやすくなるよう促していく。</p> <p>④「宝物ブックなので、楽しく飾り付けよう！」と伝え、折り紙やスパンコール、丸シール、葉っぱなどを貼ってみせる。</p> <p>* ある程度生徒が自分の好きなものを描き終わってからは、<u>デコレーション用の物品を出すようにして</u>ください。</p> <p>⑤1種類からとる量は3つまでにするなど、おやくそくを決めてから、それぞれを選んでもらう。</p> <p>⑥選んだ飾りを画用紙に貼る。</p> <p>⑦机の上を片づける。</p> <p>⑧聞く姿勢をとり、それぞれの作品について作った生徒に質問をしながら講師がコメントをする。</p> <p>* コメントは、具体的に「こつところが素敵」ということを伝えるようにする。</p>	<p>①②講師の話を聞き、見本に注目する。</p> <p>③宿題プリントやチラシの中から好きなものを選び、画用紙に描いたり貼る。</p> <p>④講師の話を聞き、見本に注目する。</p> <p>⑤⑥好きな飾りを選んで貼る。</p> <p>⑦机の上を協力して片づける。</p> <p>⑧他の友達の話聞き、作品を見る。</p>
15分	振り返り・宿題確認	宿題プリント・絵本	<p>①宿題で出すことを提示する。</p> <p>②自分で考えて書くところと、家族に手助けをもらって書くところを明確に提示する。</p> <p>③質問をすることで、家で困らないことを伝えて、質問をするように支援していく。</p> <p>④チャレンジシートを見ながら、今日の振り返りを行う。</p> <p>⑤全員が帰りの用意を完全にしてから、絵本に移れることを伝える。</p> <p>⑥絵本を読み聞かせる。</p> <p>⑦終了の挨拶を行う。</p>	<p>①自分かわからないところは挙手して質問する。</p> <p>⑤自分の荷物をまとめる。自分が選いと他の人に迷惑をかけていることを知る。</p> <p>⑥絵本を聞く。</p>

来月の家庭学習のポイント  
相手の好きなものを知ること、自分の好きなものや嫌いなものに気づくことができます。学校や園のお友達や家族の好きなものを聞いてみましょう。

宿題  
宝物ブックをお家の人に見せる。お家の人の好きなものを1つ聞いてくる。

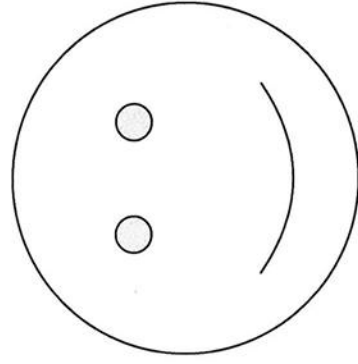
きょうの しゅくだい

なまえ (

)

『だからものぶくを みせる』 です。

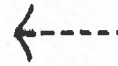
おうちのひとの すきなものも きいて みてね!



おうちのひとの すきなもの

# きくしせい

① はなしている人<sup>ひと</sup>をみる

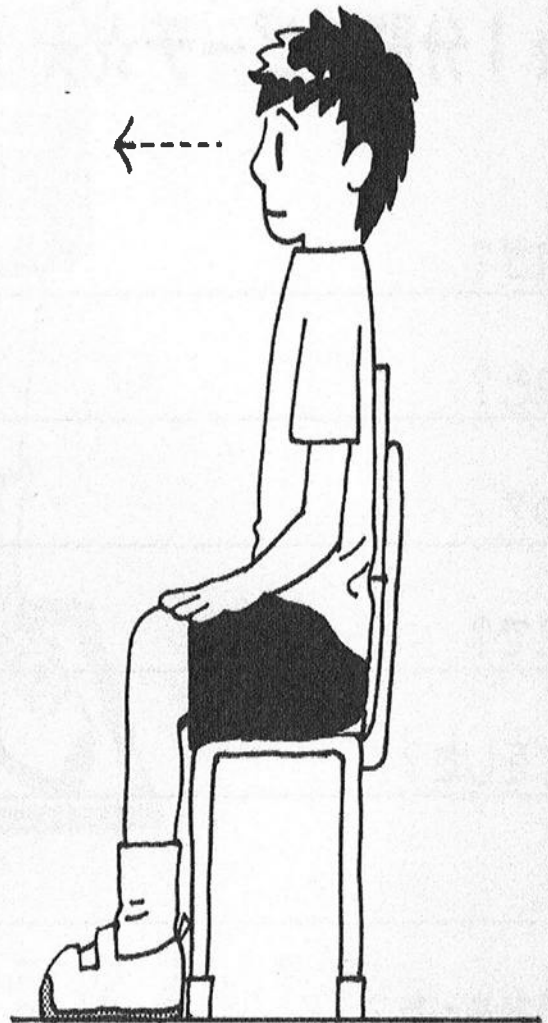


② しずかに!

- くちをとじる
- がたがたさせない

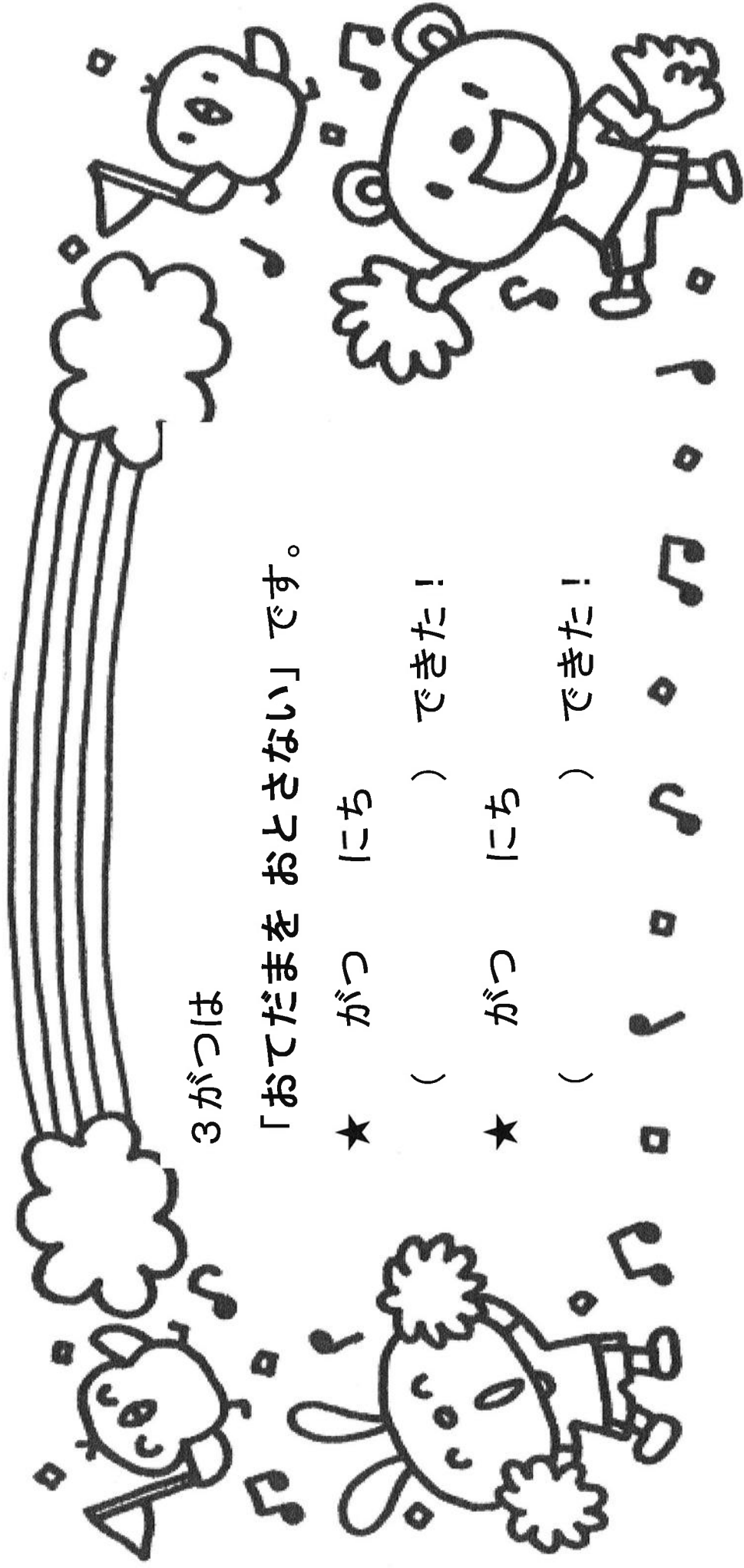
③ よいしせい

- せなかをまっすぐ
- 足はひざ
- あしをゆかにつける



# ♪がんばいタイム♪

なまえ ( )



3がつは

「おてだまをおとさない」です。

★ がつ にち ( ) できた!

★ がつ にち ( ) できた!

